

2005年3月3日

各 位

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196
株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(証券コード番号:2321)
問い合わせ先: 取締役/CFO 山本 明彦
電話番号:011-623-1001

システムプロの子会社「フラグシップ」との業務提携及び資本提携に関するお知らせ

当社は、当社の資本業務提携先である株式会社システムプロ(本社 横浜市、代表取締役社長 逸見 愛親、以下システムプロ)の連結子会社である株式会社インフォテックサービス(本社 東京都渋谷区、代表取締役社長 三浦 賢治、平成17年3月3日商号変更により株式会社フラグシップ、以下フラグシップ)との間で下記の通り業務提携及び資本提携を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本提携により、当初当社とシステムプロが平成17年4月に設立を予定しておりました合弁会社は設立せず、合弁会社で行う予定の事業は、フラグシップで行うことといたします。

記

1. 本提携の主旨

本業務・資本提携により、ソフトフロントとフラグシップとの間でより強固な協力関係を構築し、当社の主力事業であるSIP(1)関連技術のライセンス販売事業とフラグシップの主力事業である携帯電話端末ソフトウェア受託開発事業の両事業を更に発展・拡大させ、今後大きな市場となることが期待される携帯電話・ネット家電・企業向けSIPソリューションの分野において、新たなビジネスチャンスを実に獲得することで、ソフトフロントとフラグシップの両社がユビキタス市場へ参入するに当たっての確固たる基盤を確立することを目指し、このたび、業務・資本提携を締結するに至りました。

2. 業務提携及び資本提携の内容

(1) 業務提携の内容

平成16年12月10日付「システムプロとの業務提携及び資本提携に関するお知らせ」により、当社とシステムプロの両社がユビキタス市場へ参入するにあたって平成17年4月に合弁会社の設立を予定しておりましたが、

- 1) 立ち上げ後のスピードを重視すると、優れた人材をまとめて確保することが困難
- 2) 新会社設立等に伴うコストをかけることなく、より早期に当初の業務提携による成果を獲得し得る

と判断し、新たな合弁会社の設立ではなく、既に当社の開発受託とシステムプロの開発受託で実績のあるフラグシップを利用することといたしました。

フラグシップは、ソフトフロントに対し、ソフトフロント所有のSIP製品(携帯向けSIPエンジン)の「Symbian OS (2)」への移植の開発委託をするとともに、クアルコム社プラットフォーム「REX/BREW (3)」への移植も目指します。フラグシップは、出来上がったエンジンの独占販売権を得て、移動体通信関連機器開発メーカー並びにキャリアへSIPを使った移動体分野に特化したあらゆるソリューションを展開していきます。

また、CRMやSCM等企業ソリューションの分野へのSIPソリューション、コンテンツ配信系でのコンシューマー向けSIPソリューションを展開するとともに、パッケージメーカー・大手Sier等と提携し、SIPソリューション向けのパッケージ展開も図っていきます。

以上により、フラグシップは、端末向けのプラットフォーム開発及び端末向けの上位アプリケーションの構築を行い、組込みSIPソリューションとして展開するだけでなく、企業向けのSIPソリューション(PC向け)と連携すること

で市場拡大を目指します。

ソフトフロントは、SIP 製品のライセンス販売を主力事業としておりますが、今回の業務提携に伴い、システムプロのグループにて SIP ソリューションが展開されることから、今後ソフトフロントの所有する SIP 製品の受注範囲が拡大していくものと期待しております。

(2) 資本提携の内容

平成 16 年 12 月 10 日付「システムプロとの業務提携及び資本提携に関するお知らせ」では、合併会社をシステムプロ 51%、当社 49% 出資で設立することとしておりましたが、フラグシップを利用することで、出資比率に変更が生じております。ソフトフロントより 2,000 万円、システムプロより 3,000 万円をフラグシップに出資し、追加資本を当社所有の SIP 製品（携帯向け SIP エンジン）の「Symbian OS」、クアルコム社プラットフォーム「REX/BREW」への移植開発に充てたいします。当社、フラグシップ及びシステムプロは、上記業務提携の主旨を達成するために、次のとおり資本提携を行うことといたします。

資本提携の概要

当社及びシステムプロは、フラグシップが平成 17 年 3 月 3 日開催の取締役会決議に基づき実施する第三者割当増資により発行する新株をそれぞれ 400 株、600 株取得し、フラグシップの発行済株式総数に対する議決権の 20%、80%を保有いたします。なお、当社が本提携における新たな事業を開始するにあたり行う特別な支出は 2,000 万円です。

フラグシップ発行済株式総数に対する議決権割合は、以下のとおりです。

	発行済株式総数 (議決権の総数)	ソフトフロントの 所有株式数 (議決権の数)	システムプロの 所有株式数 (議決権の数)	ソフトフロントの 議決権割合	システムプロの 議決権割合
異動前 (平成 17 年 3 月 17 日)	1,000 株 (1,000 個)	-	1,000 株 (1,000 個)	-	100%
異動後 (平成 17 年 3 月 18 日)	2,000 株 (2,000 個)	400 株 (400 個)	1,600 株 (1,600 個)	20%	80%

3. 提携先の概要

フラグシップの概要(平成 17 年 3 月 3 日現在)

名称	株式会社フラグシップ 本提携により、新たな事業分野を確立すること、株式会社インフォテックサービスが株式会社システムプロの 100% 子会社ではなくなることから、商号を平成 17 年 3 月 3 日より株式会社フラグシップへ変更しました。
主な事業内容	Web 系・オープン系システム開発、SIP を採用したシステム開発、Linux 環境でのシステム開発。
設立年月日	平成 14 年 11 月
決算期	10 月
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿 1-19-15
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 三浦 賢治
資本金	5,000 万円
従業員数	37 名

売上高	6,000 万円 (平成 15 年 10 月期) 1 億 8,500 万円 (平成 16 年 10 月期)
総資産	7,019 万円 (平成 16 年 10 月期)
ソフトフロントとの関係	平成 17 年 3 月 3 日付けにて、ソフトフロント代表取締役社長阪口克彦がフラグシップの取締役(非常勤)に就任しております。 ソフトフロントからフラグシップに対して開発業務委託を行っており、取引関係があります。

4. 業務提携及び資本提携の日程(予定)

日時	事項
平成 17 年 3 月 3 日	インフォテックサービス取締役会(第三者割当増資、臨時株主総会招集決議) インフォテックサービス臨時株主総会(増資承認、商号変更、取締役選任決議) ソフトフロント取締役会(業務・資本提携決議) システムプロ取締役会(増資引受け決議)
平成 17 年 3 月 18 日	新株式の払込期日

5. 今後の業績に与える見通し

本提携による、平成 17 年 3 月期の業績に与える影響はございません。

なお、本提携による、平成 18 年 3 月期の連結業績に与える影響、見通しにつきましては、確定次第、別途開示する予定です。

ご参考

(1) SIP (Session Initiation Protocol)

IP 電話、ビデオ会議などを実現する新しいプロトコル(RFC3261)。Web の技術として有名な HTTP と同様にテキストベースであり、シンプルで拡張性が高いことから、IP 電話の標準的なプロトコルとして利用されている。最近では、その特徴を生かしてデジタル情報家電などへの搭載にも注目されている。

(2) Symbian OS

英国 Symbian 社が提供する、データ対応携帯電話向けの標準オペレーティングシステムで、海外ではノキア、モトローラ等多くのメーカーで採用され、シェア No.1 とされる。日本国内でも、ITRON の後継 OS として Linux とシェア争いが行われており、多くのメーカーにて採用が決定しシェアを拡大している。携帯電話に載るエンジン、ミドルウェア、アプリケーション等は Symbian OS と親和性が非常に高いものが豊富に揃っている。

(3) REX/BREW

BREW (Binary Runtime Environment for Wireless)は、携帯電話端末市場向けに米国クアルコム社が開発した REX (Real-Time Executive)と呼ばれる RTOS (Real-Time Operating System)上で動作するミドルウェアであり、アプリケーションの配信や課金のためのシステムも備えている。クアルコム社の携帯電話端末向けチップにはこの REX と BREW が搭載されており、アプリケーション開発者は世界中で広く普及している BREW 携帯電話端末向けに、極めて移植性の高いブラウザ、メーラー、電話帳など各種アプリケーションを開発することができる。

記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

以上